



設理念立

人和・真実・奉公

● 設立理念

明暉園設立理念は、疎外された人々を見守り続けたイエスキリストの教えに習い、身体的・精神的な障害により苦しんでいる人々と生活を共にし、彼らが自活できるよう援助することにあります。私たち自らイエスキリストの精神を悟り伝える一方、故・李方子女史の遺志を受け継ぎ、障害者たちの社会復帰と自活のための職業教育に全力を注ぐことを理念としています。

● 主要沿革

- 1967.10.17 李方子女史就任
(在任期間1967.10.07~1984.10.25)
- 1967.11.14 (旧)財団法人「保隣会」を「明暉園」に改称
- 1971.05.05 社会福祉法人認可
- 1971.06.03 「明暉園」竣工(ソウル鍾路区仁寺洞243番地)
(敷地60坪、建坪180坪)
- 1971.08.21 ソウル特別市より社会福祉施設として認可取得
- 1978.10.20 「明暉園」新築移転(京畿道光明市鉄山洞457-1)
(敷地2.904坪、建坪570坪)
- 1981.11.12 明恵学校設立許可
- 1985.06.01 聖母修女会で「明暉園」を運営
- 1990.05.08 「明暉園」新築移転—仁寺洞施設許可
(安山市四洞1273番地)
(敷地10.660坪、建坪3.142坪)
- 1992.02.28 「聖母子の家」許可取得(ソウル市鐘路区所在)
- 1993.04.28 「明暉子供の家」許可取得(安山市委託運営)
- 1996.07.04 障害者共同生活家庭「希望」設立
- 1997.02.17 「海東の職場」許可取得
(障害者労働施設増設許可取得(建物212坪))
- 1997.08.01 「明暉体育センター」増築許可取得
(建物1200坪)
- 1998.12.18 障害者共同生活家庭「愛(サラン)」設立
- 2000.10.20 創立33周年大喜年ハンマダン宴会・バザー開催
李方子女史写真会及び作品展示会開催
- 2002.10.18 創立35周年・「明恵学校」開校20周年記念行事
及び作品展示会開催
- 2005.02 2004年障害者福祉施設評価
障害者生活施設最優秀機関選定
- 2005.05 障害者体育施設申請
- 2005.09 大統領から表彰

● 事業目標

- ・障害者の自活育成
- ・建設的で生産的な職業人の育成
- ・クリスチャンとしての人格と教養の修養

● 主要事業内容

- ・障害者生活施設 - 「明暉園」
精神遅滞・身体障害者の潜在能力を啓発する為に各個人に合った社会復帰教育と人格形成教育を段階的に実施しており、作業技能を修得した優れた人材を育成する為の作業訓練や、社会・心理的側面での社会復帰プログラムなどを提供しています。
- ・障害者職業訓練施設 - 「海東訓練所」
すでに職業教育を受けた障害者が身体的条件によって一般の職場に就職するのが難しい障害者たちに、技能の修得と多様な作業を提供し、社会復帰および自立の基盤を築けるよう指導をしています。
- ・障害者特殊学校 - 「明恵学校」
現在中学部6学級と高等部6学級があり、健常者学生らと共に学習可能なクラスと知的障害学生のクラスの2コースに別れていて、それぞれ人文系中・高等学校教育課程と知的障害者特殊学校教育課程が適用されています。その他にも障害者に合った個別的な教育と社会復帰のために必要な訓練などが実施されています。
- ・障害者共同生活家庭 - 「希望」「愛(サラン)」
障害者たちが地域社会に基盤のあるく住居形態(アパート)で共同生活をしながら、社会的な自立を遂行するのに必要な助けを専門員より支援を受けます。施設の保護から離れ自立した社会生活を送ることができるよう、中間段階にいる障害者たちに必要な社会復帰のための指導と援助を行います。
- ・明暉体育センター
スポーツ活動を通して障害者たちの精神的・身体的復帰を目的とする体育施設です。地域住民にも開放されており、障害者たちに対する地域住民の理解を深め、また一般社会との結びつきをより一層深めることを目的とした施設です。
- ・鐘路福祉館
身寄りのない老人を対象に無料給食事業と地域社会の共稼ぎ夫婦の育児のための児童保育事業などが行われています。